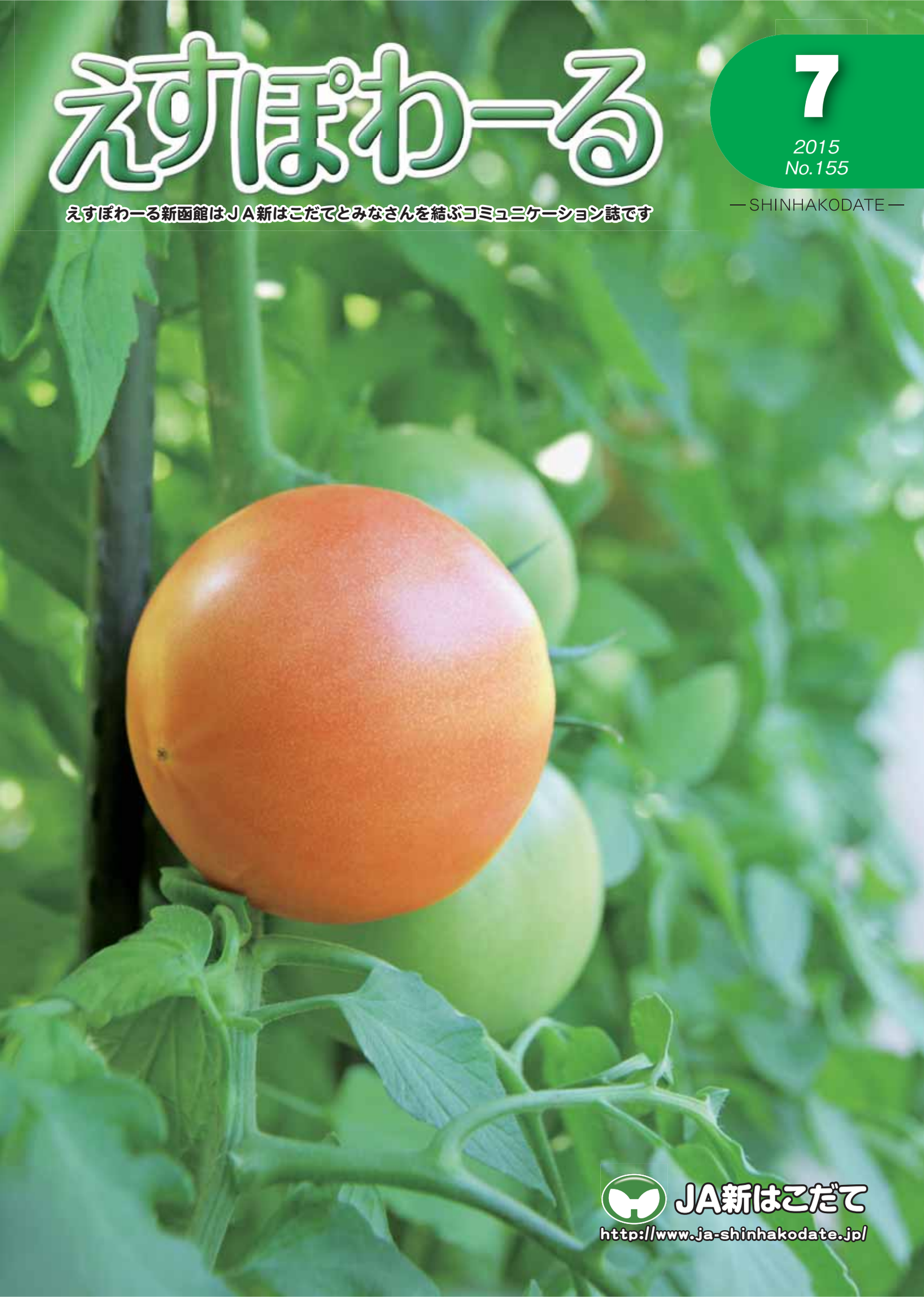
えすぽわーる

7
2015
No.155
— SHINHAKODATE —

えすぽわーる新函館はＪＡ新はこだてとみなさんを結ぶコミュニケーション誌です



JA新はこだて
http://www.ja-shinhakodate.jp/

道南をたがやす農す

夏の訪れを告げるみずみずしいトマト しっかりとした肉質が特徴の「りんか409」

農す― 生きる力を体現した容姿、自然本来の鮮やかな彩り、四季折々で地域の景観であり続ける「農産物」と、それを生み出す「農業者」たちをシリーズで紹介していく。

親子3人並んで1枚。仲の良さが表れています。

【農産物】トマト

北斗市中野
大村　憲光さん(39)
早苗さん(38)

多品目生産が特徴の当ＪＡの中でも、トマトは管内を代表する作物のひとつと言って差し支えないだろう。森～北斗・知内のリレー出荷により長期間安定した生産体制を確立。生産量は5千トン以上、販売額は17～19億円にのぼっている。

北斗市の大村さんが作付するのは、主力品種としてすっかり定着した感のある「りんか４０９」。２００７年にリリースされたこの品種は、しっかりとした肉質にとろけるような食感、酸味と甘みのバランスに定評がある。ほかに「麗夏」などの品種も、北斗市内では盛んに生産されている。

大村さんがトマトの栽培を始めたのは、30年ほど前の先代のころ。その時代から旧上磯・大野町では、町ぐるみでトマトに力を入れてきた。今でも上磯支店女性部で１００％ジュース「かみいその香」をつくるなど、思い入れは人一倍だ。

1年の営農の始まりは1月27日。苗が育つと2月17～18日に仮植えをする。毎年この日に行うのが、大村家の恒例になっている。

その後、今年は春先の気温が暖かく雪融けも進み、作業は早めに推移した。3月中に定植を済ませ、花が咲いたところでホルモン処理により着果させ、丈の成長を止める芯止めをして、5月末頃には収穫が始まった。今は収穫最盛期を迎え、毎朝、大きく栄養たっぷりに実ったトマトをもぎ取るのに忙しい毎日だ。

愛娘の紗希ちゃんは今が元気な盛り。憲光さん、早苗さんと一緒に笑顔で写真を撮らせてくれた。この時の憲光さんは、優しいお父さんの顔になっていた。

①ポットで育つ小さな苗が、夏には大人の背丈を越えるくらいに伸びて実を着けます。　②定植してからさほど時間が経っていない株ですが、早くも黄色い花を咲かせています。　③消費者の食卓に届くころに完熟になるよう、タイミングを測って収穫します。　④選別・箱づめは1つずつ、人の手で丁寧に。「函館育ち」ブランドの証しです。

えすぽわーる

NO.155／2015年7月号

CONTENTS

② 道南を農す
④ 特集 自然とふれあう田植え体験
⑥ 協同の力
⑦ 新婚さんハッピートーク ～ゴール＆スタート～
⑧ トピックス 「道外市場へ野菜・花卉をトップセールス」他
⑪ Focus the JOB ～JAの仕事を紹介します～
⑫ あぐりレッスン
⑯ 地産地食図鑑

この看板は新函館北斗駅のほど近く、大野から大沼へ向かう道道沿いに立っています。青年部員の手形は元気に育つ稲をイメージしていて、農業への熱い気持ちがこもった作品になっています。

特集 自然とふれあう 田植え体験

5月から6月にかけて、各地で田植え体験を開きました。地域の将来を担う子どもたちに、農業について理解を深めてもらうための取り組みです。普段感じることのない泥の感触や、小さな生き物たちとのふれあいを楽しんでもらいました。

田んぼアートに初挑戦！順調に生育中です。

北斗市市渡の水田で6月6・9日の両日、田んぼアートを描く田植え体験が行われました。来年3月に迫る北海道新幹線の開業に向け、道南のお米をPRするための新たな試みです。

「ふっくりんこ」を中心に、紅色が強い「紅遊び」や白っぽい「ゆき遊び」など、色の違う6品種を用意。水田に張られた目印のテープに合わせ、各色の苗を植えていきました。順調に生育すると、ふっくりんこのイメージキャラクターとロゴ、「JA新はこだて　北斗市」の文字が現れる予定です。

6日には北斗市内から集まった方々が、イメージキャラクターの部分を描きました。春らしい青空のもと、子どもから大人まで協力しながら、楽しく苗を植えていきました。

9日には大妻高校の生徒さんが、文字の部分を中心に担当しました。この日はあいにくの雨模様で気温も低い中でしたが、一生懸命、元気に田植えをしてくれました。

見ごろは今月下旬～9月中旬ころ。高さ2・5メートルほどの観覧台を設けていますので、近くをお通りの際は見に来てみてはいかがでしょうか？

場所は江差方面へ向かう国道沿いで、「ふっくりんこ」ののぼりが目印です。

25年続く伝統の体験学習　木古内小学校

木古内小学校５年生の児童２７名は５月２２日、東出雅史さん（４９）の水田で「ふっくりんこ」の苗を植えました。この体験は、東出さんの父・庄一さんの孫が当時の鶴岡小学校に通っていたことをきっかけに始まり、以来２５年間続いているものです。

児童たちは裸足になり、「冷たい」「足が抜けない」と笑いあいながら水田に入りました。次第に田植えに熱中していき、苗を植える作業を楽しんでいました。

親子で触れ合いながら　道南ラルズ田植え体験ツアー

スーパーマーケットの道南ラルズとホクレンパールライス主催の「田植え体験ツアー」が、５月２３日に開かれました。木古内小に引き続き東出さんの水田で、３０名ほどの親子が田植えを体験しました。この日は天候に恵まれ、青空のもとでの作業となりました。

体験の後は、田植え機を使っての作業や、畜産も行っている東出さんの牛舎で「はこだて和牛」の飼育を見学しました。

全校児童で楽しんで　茂辺地小学校

北斗市の茂辺地小学校の全校児童１６名は５月２６日、宗山幸夫さん（５３）の水田で「ふっくりんこ」の田植えを体験しました。宗山さんの圃場では、児童たちに農業の大切さを伝えようと、毎年この体験学習を行っています。

児童たちは苗を受け取って水田に踏み入ると、泥の感触を楽しみながら田植えに熱中していました。毎年恒例とあって、慣れた手つきで次々ときれいに苗を植えていく子もいました。

秋には稲刈りをして、その後収穫したお米の食事会を予定しています。今から待ち遠しいですね。

1人ひとりの力を合わせ、大きな力に。〝協同の力〟で地域農業をけん引する組織を紹介していく。

組織継続に向けて、新規加入者の推進へ

長万部町畑作生産組合　設立1998年、部会員　10人

●畑作生産組合が設立するまで、どのような経過がありましたか？

三原智組合長　畑作生産組合が設立して今年で17年が経ちます。以前はほうれん草・アスパラなどの部会に分かれていましたが、一本化して畑作生産組合になりました。今では野菜専業農家だけでなく、酪農と兼業の組合員もいます。

三原サチ子副組合長　畑作生産組合ができる前には、酪農地帯ということもあり酪農の人達も色々な部会に入って活動していました。しかし、だんだん高齢化して各部会の人数が減少していく中で、野菜専業の人達が中心としてやったほうが良いのではということで、現在の形になったんです。

●土曜市を始めてから現在まで、どのような変化がありましたか？

三原智組合長　合併して新はこだてになる前の北渡農協時代に、当時の長万部支店長が力を入れて取り組んで提案してくれたのが、土曜市の始まりです。当時は、道の駅などで野菜を直売しているところは少なく、土曜市は直売所の走りでした。当初は他にあまり直売所も無かったので今以上にたくさんのお客さんで賑わい、すごく楽しかったです。過去にはクレームが来たこともありますが、去年くらいから無くなってきています。土曜市をやっていて、消費者の声を直接聞けることが嬉しく、楽しいです。

三原サチ子副組合長　販売場所は最初、長万部Aコープ跡地の5号線沿いでした。その後、長万部支店横広場に場所を移し、今年からは長万部支店近くの多目的センター「あつまんべ」と変わってきました。お客さんも、最初は国道沿いなので開催しているのが見えて立ち寄ってくれていましたが、長万部支店横広場に場所を移してからは、地元のお客さんが中心で人数も減ってきています。ですが、自分たちが生産した花を楽しみにして、持っていかない時には「花が無くて寂しい」と言ってくれる人もいます。そういう言葉を聞くと嬉しい気持ちになります。

●今後の課題は何ですか？

三原サチ子副組合長　土曜市以外にも、夏の毛ガニ祭や秋の青空市、町の総合文化祭で野菜を販売させてもらっています。そういった活動を続けていくためにも、組織の若返りは課題だと感じます。

三原智組合長　組織として高齢化してきていて、後継者になる人も少ないことが課題です。設立当初は30ほどいたのが、年々減少して今では10名になりました。「新鮮で美味しいね」と言ってくれる人や、自分たちが生産した農産物を楽しみにしてくれているお客さんのためにも、土曜市などの継続に向けて新規加入者の推進に取り組んでいきたいです。

〈取材　八雲支店　中村　愛恵〉

三原　智 組合長（72）　三原サチ子 副組合長（72）

新婚さん！ハッピートークゴール&スタート vol.4

結婚というゴールを迎え、新たな人生をスタートさせた二人の出会いから交際、結婚にいたるまでの経過を紹介していく

知内町 森越
中村　健太郎さん（26歳）
奈　々さん（25歳）

【写真上】ニラの収穫作業をする健太郎さん。「普及員の人に勧められて農業をやることにしました」と話す。
【写真左】ニラのハウスにて健太郎さん（右）、奈々さん（左）、柑南（かんな）ちゃんの家族三人で。

長い遠距離期間も気持ちを一途に

●二人の出会い…

中村健太郎さんと奈々（なな）さんは平成25年9月27日に入籍した。

2人は健太郎さんが滋賀県の専門学校で農業知識を勉強していた頃、お祭りに行った時に出会った。初めてのお互いの印象を健太郎さんは「大人しくて、笑顔が可愛い」、奈々さんは「年齢の割に落ち着いていて、しっかりしている人」と語る。その後、2人で数回遊びに行き、一緒にいるのが楽しかったことから告白。交際がスタートした。

●交際期間中…

約5年半の交際期間中のうち、半分以上は遠距離での交際だったが、お互い滋賀県と北海道を行き来して2人の仲を深めていった。結婚するまでの間、健太郎さんは経営を自分でまわせるようになり、知内に奈々さんを呼んだ時に肩身の狭い思いをさせないようにと一生懸命、努力した。そして、自分の中で環境が整ったことから、意を決しプロポーズ。奈々さんは迷わず受け入れた。奈々さんは「地元を離れることに不安はあったが、嬉しかった」とその時の気持ちを振り返る。

●これから…

現在はニラが中心の経営だが、今年よりカボチャの作付も始めた。今後はニラなど、さらなる規模拡大に取り組んでいきたいと意気込んでいる。また。今年よりパートを雇うなど、新たな事にも取り組んでいる。

奈々さんは「食べ物が美味しく、周りにいる人たちも温かいので、毎日が楽しい。今は農業について何も知らないが、今後は少しでも健太郎さんの力になりたい」と農作業の手伝いにも意欲を見せている。

最後に、健太郎さんは「働きに来てもらっているパートさんにどうやったら気持ち良く働いてもらえるか、工夫したいと思っています」と話してくれた。

〈取材　知内支店　尾辻　凌〉

道外市場へ野菜・花卉をトップセールス

組合長・生産販売部長が販売要請

「三徳」新宿本店を訪問する畠山組合長（中央）と新谷部長（右）

「函館産」の表示で統一された野菜が並ぶ「ＪＡ新はこだて専用棚」

畠山良一組合長と新谷正人生産販売部長は６月１～５日、道外の市場１２ヶ所を訪れて野菜・花卉の販売要請を実施した。組合トップが訪問することで、市場の役員らトップ層に直接要請する機会を得た。

訪れたのは東京・横浜や大阪・京都、愛知の大都市圏。市場関係者と面談を重ね、取扱高の目標１２２億円達成に向けた要請や、運賃値上げなどコスト上昇を強いられる産地の実情を訴えた。市場からは「価格の安定には、安定出荷と精度の高い情報提供が必要」との要望を受け、それを踏まえてコストを意識した販売強化に努めることを確認した。

また、スーパーマーケット「三徳」の新宿本店では、「ＪＡ新はこだて専用棚」の売り場を訪れた。トマトやアスパラ、ニラなどすべての野菜を当ＪＡ管内産品で統一。多品目生産の強みとブランドイメージを生かした売り場づくりとなっていた。

種苗メーカーを招いて勉強

若松で花卉栽培講習会

◀熱心に講師の説明を聞く生産者ら

若松花卉部会は６月１０日、㈱サカタのタネの徳尾智比古さんを招き、花卉栽培講習会を開いた。

講習会ではトルコギキョウとストックの播種、定植後の温度管理や潅水、病害の防除など栽培時の注意点や、新しい定植方法の提案が行われた。ヒマワリの栽培については、丈に気を使った施肥や水管理などについて説明、生産者からは空開きの修正方法などについて質問が相次いだ。

同部会の本多敦也部会長（３９）は「これから栽培のためになる話を種苗メーカーから直接聞けてよかった。部会員も、今回の講習で教わったことを今後の栽培に生かしてもらえれば嬉しい」と語った。

地区の将来について熱く議論

青年部とＪＡ役員が意見交換会

◀自身の考えを役員に伝える髙橋部長（左）

青年部は１６日、道南農業会館でＪＡ役員との意見交換会を開いた。青年部員９名と、畠山組合長・輪島専務・西村常務の役員３名が出席した。

婚活事業について、青年部から「現状は各地区が主体だが、農協全体はどのような支援策を講じるのか」と質問。役員は「地区の特色を活かした魅力ある事業となるよう、行政と連携しながら取り組みたい」と答えた。他にも、部門に精通した専門職員の育成や、パート雇用対策強化などの要望が挙がった。

青年部の髙橋陽一部長（３７）は「役員と意見交換できたのは有意義。今回の内容を反映するよう努め、今後もこのような機会を設けたい」と話した。

生産者と市場関係者との連携強化を

青果物生産組合連合会が産地販売対策会議

市場関係者らを前にあいさつする伊藤会長

「将来に向けて生産者と市場で手を取り合いたい」と名果㈱の横山剛司室長

青果物生産組合連合会は６月１１日、函館市内のホテルで「産地販売対策会議」を開いた。生産者とＪＡ役職員、道内外の市場関係者ら５９名が集まり、青果物販売強化に一丸となって取り組むことを確認した。この会議は、各地区の生産者とＪＡ、販売関係者との連携強化を目的に、毎年開いている。

はじめに同連合会の伊藤博之会長が「不安定要因もあるものの、生産物は概ね良い状況で推移している。他産地の出荷が本格化するこれからが正念場と捉え、農家・ＪＡ・市場ともに良い年にできるようにしていきたい」とあいさつ。

会議では、各地区の作付生育状況や販売計画、消費地の情勢などが報告された。また、市場取引に関する基本方針として多品目通年出荷を戦略に掲げ、スーパーでの専用売り場確保に向け推進することを確認した。

七飯の農業を体験

専門学校生が体験学習

◀フラワーアレンジメントに取り組む学生たち

七飯町４Ｈクラブは６月２７日、函館調理製菓専門学校の学生を招いて体験学習を開いた。調理師や菓子職人を目指す学生に地域の食材について理解を深めてもらうことが狙いで、今回で５回目となる。

はじめに共選場で人参やカーネーションの共選を見学。その後は中島町会館に移動し、学生がつくった昼食が振る舞われた。メニューは同クラブが提供したニンジンを使った「牛スネ肉と人参の白ワインシチュー」など全８品。午後には部員が育てた花を使って、フラワーアレンジメントを体験した。

学生の板坂恭吾さん（１９）は「雨で人参の収穫ができなかったのは残念だが楽しかった」と話した。

7年連続で5万円の高値

森町産「さぶりメロン」の初セリ

◀初セリで5万円の値がついた「さぶりメロン」

厚沢部・森町のブランド「さぶりメロン」の初セリが６月８日、函館市青果物地方卸売市場で行われた。最上級の１箱（２玉入り）が、販売２年目から７年連続の５万円でせり落とされた。

午前７時半から始まったセリには、森町の中澤秀樹さん（３９）ら２戸が出荷した「ルピアレッド」５箱が並び、函館市の丸上青果が５万～２万円でせり落とした。同社の豊嶋敦さんは「道南ブランドとして徐々に浸透し、引き合いが多かった。さらに知名度を高めたいとの思いで値を付けた」と話した。

さぶりメロンは１０月までの約４ヶ月間、函館や札幌、東京、名古屋方面などに出荷される。

新たな特産品の開発に向けて
八雲町で「無洗米おこわ」の試食会

◀具材や味付けの違う2種類のおこわをその場で炊いて試食。

八雲町のもち米消費拡大推進協議会は６月２６日、風の子もちを使った「無洗米おこわ」の試食会を開いた。町職員やもち米生産者ら約２０名が集まった。

このおこわは、八雲高校の生徒が開発した「二海おこわ」を基に、自然食品を扱う吉川商店が考案したもの。無洗米のもち米と乾燥した具材・調味料を真空パックし、水に浸けて炊くだけで手軽に食べられるようにした。参加者は「風の子もちの食感を残してほしい」など意見を出し合った。

同協議会の小林幹至副会長（３６）は、「今回の試食会を通してたくさんの意見交流をはかり、それらを取り入れて商品化への近道にしたい」と話す。

オリジナルのトマト料理をめしあがれ
あぐりへい屋で大野農業高生が料理を提供

◀オリジナルのトマト料理を手にする生徒たち

あぐりへい屋で６月６、７日に行われた「トマトフェア」で、大野農業高校の生徒３名が自ら考案したトマト料理を提供した。同高の社会学習・インターンシップであぐりへい屋にて業務体験する生徒に、工藤寛生店長が提案した。

「食材は店内にあるもので調達」という条件のもと３人で相談し合い、カップケーキやパン・ピザなど５品を調理。ワンプレート５００円で販売し、「農高生の考案料理」として人気を集めていた。

参加した生徒は「急な話で不安があったが、納得のゆく料理ができて良い経験になった」と満足げな表情を見せていた。

牛乳消費拡大を呼び掛け
八雲マラソン大会で牛乳を配布

◀ランナーに牛乳を手渡す生産者

酪農生産部会八雲支部の役員４人は６月１４日、第３０回やくもミルクロードレース大会（八雲陸上競技協会主催）で、牛乳消費拡大のＰＲを行った。大会には小学生から成人まで約５００人が出場した。

同支部は会場で、牛乳２００ミリリットルとファイルやメモ帳などのグッズを無料で配布。ランナーに「おいしい牛乳をいっぱい飲んでください」と呼び掛けた。ランナーは「走って体を動かした分、牛乳がいつもよりおいしく感じる」とにこやかな表情だった。

同支部長の舟橋秀貴さん（４５）は「今回の様な活動を継続し、牛乳・乳製品を積極的にＰＲしていきたい」と意気込んだ。

楽しくスイーツをつくって交流
八雲支店女性部がチーズケーキ作り

◀料理を楽しみながら交流する

八雲支店女性部料理部会は５月３０日、活性化施設遊楽部館で料理講習会を開いた。同部会は女性部組織の中に位置付けられており、料理を通じて部員間の結束を強めることが目的。過去にも、そばやパン・ピザ作りの他、イベントへの参加、講師を招いての料理教室など年に３回程活動している。

当日集まった部員１６名は、クリームチーズ等を材料に直径２０センチの型１０個分のベイクドチーズケーキ作りに挑戦。でき上がってから冷蔵庫で寝かせるとしっとりとおいしさが増すという。大栗ミチ子部会長は「酪農家は今が短い小休止時期。甘いスイーツで束の間の骨休めです」と笑顔で話した。

Focus the JOB ～JAの仕事を紹介します～

総務部職員が働く事務所内

総務部がある本店事務所

北斗市本町１丁目1-21
TEL：0138-77-5555（総務課）
FAX：0138-77-5566

経営の健全性向上と人づくりに努めます

総務部は、北斗市本町の本店事務所2階にあり、総務課・人事課・経理課の3課から構成されています。

総務課では、毎月開催している理事会を始めとした各種会議の準備や組合員からお預かりしている出資金の管理、建物や土地などの固定資産・各支店の施設管理、不祥事未然防止の為の研修会実施などを行っています。人事課では、各種職員研修会の実施や給与支払・健康保険等の事務処理、職員の採用や退職に伴う手続きなどを行っています。経理課では、決算に伴う決算報告書作成や農協の経営実績・財務内容・業務状況などの情報を記載したディスクロージャー誌の作成、法人税などの税務申告関係、全店の経理伝票が適正に処理されているか精査する業務などを行っています。

農協経営の更なる健全性向上と安定化、組織を支える人づくりに向けて、総務部一丸となって頑張っていきます。

牛の暑熱対策について

渡島農業改良普及センター

今年は、４月下旬から乳脂率が下がっています。４月中旬からの高温傾向が原因のひとつと推察されます。暑熱対策をしっかりと実施し、乳量、乳成分の変動を防ぎましょう。

■良質粗飼料を給与して採食量確保■

○嗜好性の高い良質な飼料を給与する
○給与回数や掃き寄せ回数を増やす
○水浸しになった残飼は速やかに片付ける

■新鮮な水を十分に確保■

○水タンクの設置や配管を太くして水量を確保する
○ウォータカップをこまめに清掃する

■換気と送風による体感温度低下■

○窓の開放により、十分に換気する
○牛体に直接扇風機で風を当てる
○すだれや寒冷紗で直射日光を遮光する

飲水設備は常に清潔に保つ

窓を開放し、簡易的に遮光ネットを設置して、日差し対策

馬鈴しょ・大豆の防除

檜山農業改良普及センター

1　馬鈴しょの疫病防除を徹底しましょう！！

（1）疫病防除のポイント

①病徴は、葉の表面に暗緑色で水浸状の病斑を示し、裏面には白いカビが生ずる
②発病後は根絶できないので、約１０日間隔で予防防除を徹底する
③生育に合わせて、散布液量を多くする

葉の病徴

薬剤例

薬　剤　名	効果の発現	塊茎腐敗
ホライズンドライフロアブル	予治	×
リライアブルフロアブル	予治	×
プロポーズ顆粒水和剤	予治	○
フロンサイド水和剤	予	○
ランマンフロアブル	予	○

2　大豆の病害虫防除を徹底しましょう！！

近年、紫斑病とマメシンクイガの被害が増加傾向にあります。
右記を参考に、２回の確実な防除を行って下さい。

紫斑粒

（1）紫斑病防除例

防除時期		薬　剤　名
１回目	開花後 １０日目	ファンタジスタ顆粒水和剤
２回目	１回目の １５～２０日後	プライア水和剤

（2）マメシンクイガ防除例

防除時期		薬剤名（どちらかを選択）
１回目	開花後 １０日目	バイスロイド乳剤
		ゲットアウトWDG
２回目	1回目の 10～15日後	エルサン乳剤
		スミチオン乳剤

※薬剤の使用に当たっては、ラベルをよく確認して、事故のないように注意して下さい。

おいしさ
北海道産牛肉
しっかり貯めて、たっぷり食べて!
JAバンク 北海道
http://www.jabank-hokkaido.or.jp
期間中、定期貯金・定期積金を
一定条件でお預入のお客様に
抽選で北海道のおいしさを ドドーンとプレゼント!
全道合計 5,000名様に当たる!
A賞 100名様
※写真はイメージです
ドドーンと! 贅沢!
北の銘肉よくばりセット 5万円相当
食べごたえ満点のサーロインステーキや、豪華な骨付きラム、すき焼きで
楽しみたい絶品和牛肉など、道産ブランド肉6種をドドーンとお楽しみください。
・十勝産 サーロインステーキ 960g(160g×6) ・平取産 びらとり和牛カルビ 700g ・北海道産 豚肉アソート 約1.9kg
・白糠産 北海道しらぬかラム肉セット 1.6kg ・ふらの産 ふらの和牛肩ロースしゃぶしゃぶ 880g ・びえい産 びえい和牛肩ロースすき焼き(200g×4)
北海道のおいしさ
ドドーン貯
夏のキャンペーン
キャンペーン応募期間
6/1(月) ▶ 7/31(金)
ドドーンと! 選べる!
北の地元味セレクト 1万円相当
B賞 500名様
※写真はイメージです
新鮮な農畜産物から、匠の技が光る加工品まで。全道のJAから選りすぐった
特産品が大集合。逸品の数々からお好きな3品をお選びいただけます。
W チャンス 4,400名様
北のおたのし味セット 3千円相当
A賞・B賞の抽選にはずれてもチャンス!
全道のJAオススメの品を詰め合わせでプレゼントします。
さらに
先着で「ちょリス ホッチキス」をプレゼント!
マスコットとしてもかわいいホッチキス!
期間中、左記載の応募条件によりご契約の個人のお客様に対して契約時に1つプレゼントいたします。
※品切れの場合は、他の商品に替えさせていただきますのでご了承願います。
プレゼント応募条件 対象商品(受入条件)
定期貯金 (1年以上) (新規または増額20万円以上)
定期積金 (1年以上) (契約額24万円以上)
■対象者/個人の方に限ります。
■抽選の権利/・定期貯金(1契約20万円につき1口)・定期積金(1契約24万円ごとに1口) ※お一人様何口でも応募可能です。※増額書替の場合は、増額分のみ対象。
■当選発表/商品のお届けをもって代えさせていただきます。(抽選は平成27年9月上旬)
■応募方法/窓口でお渡しする応募用紙に必要事項を記入し、窓口へお持ちください。
【ご注意事項】※当選後の権利の譲渡、商品の交換・換金には応じられません。 ※今回預入された定期貯金または定期積金を中途解約された場合は当選の権利を失います。

JA新はこだて
夏の貯金キャンペーン
キャンペーン期間 6/1月 ⇒ 8/31月
対象
定期貯金新規お預入れ
及び増額書替
(ともに10万円以上)のお客様
ご契約のお客様にすてきなプレゼント
キャンペーンご契約のお客様に
ちょリスホッチキス
先着全店合計1,200個限り
さらに 100万円以上の貯金で
今回は 大野基幹支店から
農協のトマトカレー
(調理例)
1年定期 年0.10%
3年定期 年0.20%
5年定期 年0.30%
大野支店 貯金課
安部 紗弓
JA新はこだて
大野支店 貯金課
三谷 千夏
表示有効期限:平成27年8月31日

理事会開催報告

第6回　理事会（定例）　日時:平成27年6月26日（金）　午前10:30～　場所:北斗市農業振興センター

議 案

1号　第1四半期定期監査に対する回答について
2号　金融機関貸付について
3号　農業委員の推薦について
4号　上期決算の実施について
5号　情報セキュリティ基本規程の一部変更について
6号　財務管理規程の一部変更について
7号　第１３回総代会議案第８号（信用事業規程の一部変更について）の修正について
8号　平成２８年度知内支店ニラ共同選別設備導入に係る取り進めについて
9号　平成２７年度農業基盤整備促進事業の取り進めについて
10号　理事に対する貸付（畜産リース）について

香ばしいお米の風味を味わって。「お米地茶（こめじちゃ）」発売中

あぐりへい屋 食と農のゆいっこ館 NEWS

あぐりへい屋で、ふっくりんこを６割使った玄米茶葉「お米地茶」が発売中です。５月に北斗市で開かれた「北斗桜回廊」でも販売し、好評を博したものです。

原料米のふっくりんこは北斗市産の規格外品を活用。焙煎して香りを高め、お米の風味を楽しめるようになっています。茶葉はこだわりの静岡産です。４ｇのティーバッグ４袋入りで価格は１２０円です。

あぐりへい屋

所在地：北斗市東前 62
TEL：0138-77-7779
定休日：月曜
営業時間：AM.9:30 ～ PM.4:00

二木職員が準優勝
全道窓口セールスコンクール

５月１６日に開かれたＪＡ北海道信連主催の「第１回ＪＡバンク北海道窓口セールスコンクール」に、大野支店の二木汐理職員と八雲支店の若山ひとみ職員が出場しました。両名は道南予選・札幌本選を勝ち進んでの出場で、全道から集まった１６名で２つの部門に分かれて優勝を競いました。

大会では、ロールプレイング方式で接客の様子を審査しました。二木職員は「ＪＡカード部門」に出場し、笑顔を心掛けた接客を見せて準優勝を収めました。若山職員は「年金予約部門」に出場し、惜しくも入選は逃したものの健闘しました。出場した両名を中心に、コンクールの経験を日ごろの業務に活かしてまいります。

◀準優勝に輝いた二木職員の窓口対応

クロスワードのプレゼントがパワーアップ！

どんどん応募してね！

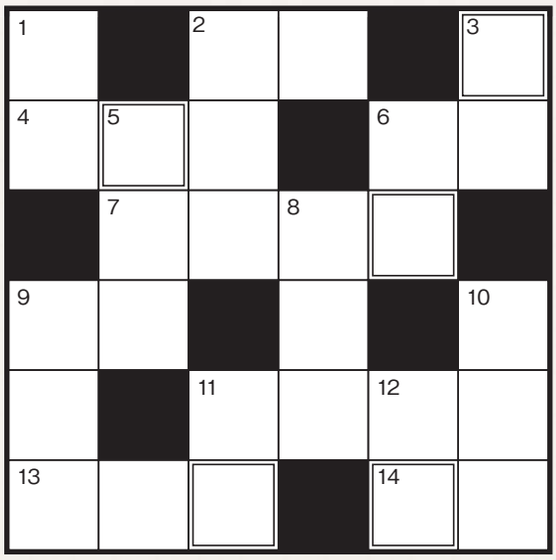
クイズの正解者の中から抽選で 3 名様に、以下の 3 種類からお好きな商品を1つプレゼント！
今までより1袋多い 3 袋をお送りします。ご応募の際に、希望のプレゼントをご記入ください。

農協ラーメン
（1袋2食入り）
檜山南部産小麦を3割使用

農協のトマトカレー
（1袋1食入り）
北斗市産トマトがたっぷり

はこだて産 本格いかめし
（1袋2杯入り）
きたくりんがつまっています

みんなのまるめ邸広場 クロスワードクイズ



二重マスの文字を並べてできる言葉は何でしょうか？
中には今月号のえすぽわーるにヒントのカギがあるかも。

■タテのカギ

1 足の裏に。
2 相手を憎んで○○○をむき出しにする。
3 自信たっぷりな○○顔。
5 函館山からの眺め。8月13日は○○○の日。
6 加法は足し算。乗法は○○算。
8 空。
9 サザエさんとマスオさんの息子。
10 初挑戦!水田に絵を描く「田んぼ○○○」。
11 やがて自分にとっていいことが起きる。情けは人の○○ならず。
12 感覚が○○する。

■ヨコのカギ

2 大相撲名古屋場所。新大関の○○ノ富士。
4 プロ野球の野村元監督は試合後の○○○が有名。
6 虫をシャットアウト。
7 山内、谷元、本田、桑田。
9 首位が2チーム並んだ。トップ○○。
11 カップ麺の待ち時間を○○○○で計る。
13 あぐりへい屋で新発売。ふっくりんこを使った「○○○地茶」。
14 小、薬、中、○○、親

キーワードヒント

色々な数字が書かれたものが
売られています。

あて先

クイズ&投稿は、郵送またはFAX、メール、ホームページのメールフォームで受け付けております。

〒041-1201 北斗市本町1丁目1番21号
JA新はこだて企画室　FAX:0138-77-5566
✉E-mailアドレス　shinya.toda@ja-shinhakodate.com

6月号のこたえ キーワード

お	う	え	ん	だ	ん

1ひ	2め	か	3わ	■	4え
5な	ん	■	6し	7あ	ん
8だ	こ	9た	■	10つ	か
ん	■	11も	12う	ま	く
■	13ぶ	り	ず	ん	■
14お	ち	■	15ら	べ	る

6月号クイズ当選者

厚沢部町　ソラパパさん
知内町　マチャコさん
北斗市　のりぴーさん

⬇応募用紙はこちら（切り取ってハガキにそのまま貼ってね。）

応募締め切り 7月24日（金）（当日消印有効）

※下記応募用紙には必ず全て記入して下さい。
※コメントのないものは無効とさせて頂きます。

キーワード ［　］［　］［　］［　］［　］

ご希望のプレゼント　※下記のいずれか1つに○を付けて下さい

農協ラーメン・農協トマトカレー・函館産いかめし

住所
〒　　－
氏名　　年齢　　TEL
ペンネーム　　才　　－　　－
組合区分　正組合員・准組合員・その他　※○を付けて下さい
コメント ※広報誌へのご感想やご意見・ご要望、身近なできごとなどについて教えてください。

キリトリ線

読者の声

✉ 厚沢部町　ソラパパ　さん
運動会で1位と2位とった!　by小2年ソラ
♣おめでとうございます!　運動神経が良くてうらやましいです。

✉ 知内町　マチャコ　さん
クロスワードが難しくなった気がします。ラーメン食べたいです。
♣頭の体操ですので、インターネットを使ったりしながら解いてもらえると嬉しいです。

✉ 北斗市　のりぴー　さん
えすぽわーるを読んで色々な直売所があるのでいきたいです。
♣それぞれ工夫を凝らしているので、ぜひ行ってみてください。

✉ 森町　カズマ　さん
農協ラーメンあたりますように!!
♣ごめんなさい!今回は外れてしまいました。えすぽわーるの感想なんかも教えてくれると嬉しいです。

広げよう！地産地食図鑑

★１６品目★
ブロッコリーと大えびのパスタ

地元乙部産のブロッコリーを使用した「ブロッコリーと大えびのパスタ」1,000円(税込)

甘さ際立つブロッコリー

今月のテーマは、収穫が始まったばかりの乙部産ブロッコリーです。甘みと鮮やかな緑色が特徴のブロッコリー。今回は、乙部町にある「キッチンｃａｆｅのどか」の門野明美店主にパスタを作っていただきました。

たっぷりのスープにブロッコリーとエビを絡めて、具だくさんで華やかな見た目に仕上げています。味つけはあっさりとした塩味で、トビッコの舌触りやブロッコリーの甘さがこだわりの一皿です。今月から11月ごろまでの期間限定の新商品として、メニューに加わります。

門野店主は「乙部にはおいしい食材が他にもたくさんあるので、これからもそれを使って料理を作り続けたいです。ぜひ食べにきてください」と話していました。

味・品質のよい乙部産ブロッコリー

「自然の景色を眺めながら、食事をお楽しみください」と門野店主

キッチン cafe のどか

住所：乙部町字館浦 499　TEL：0139-62-2510
営業時間：平日 11:30 ～ 14:00・17:30 ～ 22:00
日曜・祝日 11:30 ～ 14:00/17:30 ～ 21:00　水曜日定休

編集後記

◆ ピンク～紫・青色の切り花にビタミンCを与えると色が長持ちするという説を、私は勝手に唱えています。ビタミンCが分解されやすい色素の身代わりになるため、というのが理屈です。昨年ユリで比べてみたところ、ただの水で活けた株は3日で色落ちしたのに対し、ビタミン剤を溶かした水では2～4日ほど長く残りました。

花卉農家さんでその辺りに詳しい方がいらっしゃいましたら、教えて頂けると嬉しいです。ぜひ、クロスワードの答えと一緒に送って下さい。（真）

まるめ郎アルバム

函館競馬場で馬を見にきたよ～。
足の筋肉がくっきり見えた！
蹴られたらやばい・・・(笑)

えすぽわーる新函館

第155号　平成27年７月10日発行

発　行／新函館農業協同組合
住　所／〒041-1201　北斗市本町1丁目1番21号（北斗市総合分庁舎隣）
電　話／0138−77−5555（代表）
ＦＡＸ／0138−77−5566
編　集／企画室
印　刷／有限会社　三和印刷

JA新はこだて facebook
ＪＡ新はこだてホームページからもご覧いただけます。
こちらも、よろしくお願いします。

「えすぽわーる」とはフランス語で「希望」という意味。「えすぽわーる新函館が読者の皆さんに希望を届ける広報誌になって欲しい」という願いが込められています。